

YA・BOOKS



～ 最近買った本の中から ～

No.24 (2013.9)

◆モナミは宇宙を終わらせる? We are not alone!

ドジっ娘地球を救う?

はやみねかおる著 角川書店 2013.2 テコJ913-ハヤ 1110606408

モナミは「ミス武蔵虹北」、つまり、武蔵虹北高校一ミスが多いドジっ娘だ。何を触っても破壊してしまう彼女だが、そんな彼女の行動が、今回は人類滅亡とシンクロしてるらしい。転校生の丸男たちと結成した地球防衛軍の活躍で、無事人類は救われるのか?! 人気小説の『モナミは世界を終わらせる?』の第2弾。

◆マルセロ・イン・ザ・リアルワールド (STAMP BOOKS)

リアルな世界に踏み出す

フランシスコ・X.ストーク作 千葉茂樹訳 岩波書店 2013.3 テコJ933-スト 1110616155

マルセロは発達障害を持つ17歳。「リアルな世界」で成長するために、父親の法律事務所までひと夏働くことになった。そこで見つけた1枚の写真により、マルセロは大きな決断を迫られる…。物事の持つ意味を掘り下げて考えるマルセロが、じっくり考えて出した答えとは?

◆白球アフロ

アフロ×高校野球×恋愛

朝倉宏景作 講談社 2013.3 テコ913.6-アサ 1110610213

瀬山の所属する都立高校野球部に、アメリカからの転校生クリスが入ってきた。黒人で、背がでかくて、中途半端なアフロヘア。クリスの「Why?」に答えるうち、瀬山は「なぜ野球をやっているのか」など、今まで考えたこともなかった問題が気になり出す。そして迎えた東京都予選、弱小等々力高校は勝つことができるのか?

◆お任せ!数学屋さん

数学屋はじめました

向井湘吾著 ポプラ社 2013.6 テコ913.6-ムカ 1110662686

中学2年生遙の隣の席に転校生宙が現れた。宙は野球とソフトボールの区別もつかない変わり者だが、数学に関しては天才的能力を持っていた。そんな宙は自分の席で、どんな悩みも数学の力で解決するという「数学屋」を開店する。宙の数学を使った鮮やかな問題解決ぶりに感動し、数学が苦手な遙も店を手伝うことに…。

◆わからん薬学事始 2

薬草学にかける青春

まはら三桃著 大野八生装画・本文イラスト 講談社 2013.4 テコJ913-マハ 1110632453

無事、和漢学園高校2年に進級できた草多。実家の製薬会社で作っている伝承薬「気休め丸」を万能にするための研鑽は続く。下宿「わからん荘」の住人たちが相変わらず個性的だ。特別クラスでの特訓などを通じて、草多の持っている「薬の音がきこえる」能力もますます開発されていくようだった。

◆カフェ・デ・キリコ

家族の絆

佐藤まどか著 講談社 2013.4 テコJ913-サト 1110640778

中学2年生の霧子は、突然母とともにイタリアに移住することになった。亡くなった父の故郷で、祖父のギャラリー・カフェを継ぐことになったのだ。イタリア語を猛勉強しつつ、カフェ開店のために奮闘する霧子。隣に住むバジリコ兄弟とも仲よくなったが、霧子も、母も、バジリコ兄弟も、それぞれ家族についての悩みを抱いていて…。

◆オクサ・ポロツク 1

フランス発ファンタジー

アンヌ・ブリショタ、サンドリーヌ・ヴォルフ著 西村書店 2012.12 テコ953-フリ 1110621772
もうすぐ13歳になる活発な女の子オクサは、パリからロンドンへ引っ越してきた。それ以降、彼女の身には次々と不思議なことが起こる。やがて自分の家族についての信じられないような秘密を知ることになり…。世界27カ国で翻訳刊行中、映画化も決定しているフランスのベストセラーシリーズ第1弾。

◆紅玉(ルビー)は終わりにして始まり(時間旅行者の系譜 [1])

ドイツ発タイムトラベル

ケルスティン・ギア著 遠山明子訳 東京創元社 2013.2 テコ943.7-キ7 1110646379
グウェンドリンはいたって普通の女子高生。一方、いとこシャーロットはタイムトラベラーとして期待され、綿密な準備教育を受けている。タイムトラベラーには予兆としてめまいが起こるはずなのだが、めまいに襲われたのはグウェンドリンの方だった。相棒になったギデオンは、完璧な美男子だけど傲慢で嫌なやつ！シリーズ第1弾。

◆負けないパティシエガール(SUPERIYA)

毎日ケーキを焼けばきっと大丈夫

ジョーン・バウアー著 灰島かり訳 講談社 2013.6 テコ933-ハウ 1110672468
フォスターはママとメンフィスから逃げ出して、カルペパーという小さい町に移り住んだ。彼女の夢は「パティシエガール」になって、テレビで自分の料理番組を持つこと。問題は山積みだが、フォスターは今日も夢に向かってとびきりおいしいカップケーキを焼く。前向きで元気の出る物語。

◆わたしは倒れて血を流す(STAMP BOOKS)

思春期の不安

イエニー・ヤーゲルフェルト作 ヘレンハルメ美穂訳 岩波書店 2013.5 テコJ949-ヤケ 1110660707
マヤはストックホルムの美術コースに通う個性的な17歳。両親は離婚しており、普段は父親と暮らしている。母親ヤナは独特な人物で、特に人との付き合い方が変わっていた。ある日ヤナは携帯電話も置いたまま姿を消してしまう。お母さん、どこに行ったの？わたしのこと、どう思っているの？マヤの「最悪」な9日間とその後の物語。

◆戦火の子どもたちに学んだこと(13歳からのあなたへ)

幸せって何？

西谷文和著 かもがわ出版 2012.7 テコJ319-ニシ 1110637100
アフガニスタンやイラクなどの紛争地でも、夢を捨てずに生きようとする子どもたちの姿。著者は44歳で公務員を辞めフリージャーナリストに転身し、世界各地の紛争地を10年以上にわたって取材してきた。あきらめないで夢に向かうこと、世界に出て真実を見ることの大切さを伝える。

生きるって何？性って？生きていくって？

『生まれてくるってどんなこと？あなたと考えたい生と性のこと』(川松泰美著 平凡社 2013.3 テコJ367-カ7 1110616048)
教員の著者が中学生のために語る生と性。あなたの元となった卵子と精子は、1051兆分の1の確率で出会ったという奇跡。38億年前からあなたへとつながるいのち。生と性について知り、そして「自分に誇りを持ってほしい」と著者は語る。

『境界を生きる 性と生のはざままで』(毎日新聞「境界を生きる」取材班著 毎日新聞社 2013.2 テコ367.9-キヨ 1110602893)
全ての人を男か女に区分することを前提としている社会。しかし、そんな区別の境界におかれている人がいることを知っているだろうか。性器や染色体の性別があいまいな疾患や、体の性と心の性が一致しない障害を抱える人は、社会の無理解のため声を上げられず苦悩している。「無関心という「罪」をこれ以上深めてはいけない。」まず知ることから理解が始まる。

『中学生の君におくる哲学』(斎藤慶典著 講談社 2013.1 テコ104-サイ 1110558981) 大学の哲学の先生、つまりテツガクシャの著者が中学校の校長になった。この本は校長として中学生に語りかけた話をまとめたもの。「テツガクというのは何も専門家だけがするものではない。毎日の生活の中で君がふと立ち止まり、何かを考えはじめたとき、それはもうテツガクなんだ。」

『働くために必要なこと 就労不安定にならないために』(品川裕香著 中央公論新社 筑摩書房 2013.5 テコ366.29-シナ 1110644614) せっかく就職したのに3年以内に辞めてしまう人が約30%もいる。いったん仕事を辞めてしまうと正社員になるのはとても困難だ。どうして働きつづけることができないのか？辞めてしまった若者たちと企業側、双方の意見を聞くことでその原因が見えてくる。その上で著者は、「社会に適應できる、自立した人間になるために必要なこと」を示す。

